



第71回造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会（佐賀大会）
第30回佐賀県造形教育研究大会（武雄・杵島大会）

主催 佐賀県造形教育研究会・日本教育美術連盟

開催中止のお知らせ



武雄市立武雄中学校の公開授業



武雄市立朝日小学校の公開授業



武雄市 あさひこども園の公開保育

日本教育美術連盟の活動に、日頃からご理解ご協力を頂き厚く感謝申し上げます。
今年度11月12日・13日に開催を予定しておりました、佐賀県での全国大会を中止することになりました。

佐賀大会の開催を楽しみにしておられた皆さまには申し訳ありませんが、現在のコロナ禍の状況から、全国大会の開催は困難であると判断いたしました。

佐賀大会の実行委員長 栗山裕至と日本教育美術連盟理事長 藤丸一郎から、皆さまにご報告とご挨拶をいたします。

全国からたくさんの先生方のご参加を頂き、佐賀っ子たちが生き生きと学ぶ姿をふんだんにお見せできることに、期待を大いに膨らませながら、11月の全国大会開催に向けて準備を進めてきました。

「子どもがつくる、子どもが主役の造形教育」のテーマのもと、幼保・小・中・高と幅広い校種で造形教育の実践を重ねながら、子どもたちの造形的な学びの可能性を引き出せるような保育実践や授業実践をどのように形にできるか、研究チームを組んで地道に探り続けてきました。

1月にはプレ大会を行ない、成果の積み上げが着実に形になってきたことを実感しておりました。「いよいよ総仕上げだ!」と、関係者一同意気込んでおりましたが、新型コロナウイルス感染拡大による諸事情から、佐賀大会の開催を断念せざるを得なくなりました。本当に、本当に残念でなりません。

これまでの研究成果をさらに充実させ、いろいろな形で佐賀ならではの造形教育を発信し続けていきます。どうか宜しくお願い致します。

第71回造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会（佐賀大会）
第30回佐賀県造形教育研究大会（武雄・杵島大会）

大会実行委員長 栗山 裕至

「子どもがつくる、子どもが主役の造形教育」このテーマに込められた思いを共有しながら、日々実践を積み重ねてこられた佐賀大会関係者の皆さまに心から敬意を表します。

各研究チームで集まり保育や授業研究を行い、プレ大会の当日は若い先生が堂々と保育や授業をされていました。「全国大会は、人材を育てる絶好の機会である」ということが確信できました。

大会は中止になりましたが、「子どもが主役の保育や授業」をめざす実践研究が途絶えることなく続いていくことと思います。佐賀の地へ心からのエールを送ります。佐賀の皆さま、ありがとうございました。そしてまた、いつの日にか一緒にできることを楽しみにしております。

日本教育美術連盟
理事長 藤丸 一郎



プレ大会の協議会の様子（令和2年1月30日）